

～持続可能な地域コミュニティの実現に向けて～

広島型地域運営組織「ひろしま^{エルモ}LMO」づくり

募集案内

地域コミュニティは、防災、防犯、福祉、子どもたちの育成、環境美化、交通安全、伝統文化の維持、スポーツなど、日々の暮らしを充実させる上で欠かせない役割を担うとともに、地域資源を活用した活動により、まちのにぎわいを創出しています。

将来にわたり、こうした地域コミュニティの活動が持続可能なものになるよう、令和4年2月に本市が策定した「広島市地域コミュニティ活性化ビジョン」に基づき、市民主体のまちづくりを推進する広島型地域運営組織「ひろしまLMO(エルモ)」づくりに取り組む地域を募集します。

◆ 広島型地域運営組織「ひろしまLMO(エルモ)」とは？

地域の関係者が、楽しさややりがいを感じながら、市民主体のまちづくりを進めることができるよう、概ね小学校区を活動範囲とした地域を代表する組織として、地域の実情に応じて、多様な主体と連携しながら、地域課題の解決に取り組む組織をいいます。

(LMO: Local Management Organization(地域運営組織)の略。)

【応募団体】

地区社会福祉協議会及び連合町内会・自治会が共同(連合町内会・自治会が組織されていない地域は地区社会福祉協議会単独)で、概ね小学校区を活動範囲として活動している団体(1団体でも可)と連名で応募していただきます。

【応募条件】

- ・行政と協働して広島型地域運営組織「ひろしまLMO」づくりに取り組む意欲があること。
- ・広島型地域運営組織「ひろしまLMO」づくりに向けた話合いの場に参加する団体を具体的に想定していること。

【応募方法】

申請書を「コミュニティ再生課」又は「各区の地域起こし推進課」に提出してください。

※ 記載例は5ページ、申請先は16ページに記載しています。

【広島市ホームページ】

募集案内やひろしまLMOの認定状況等は、市ホームページに掲載しています。市ホームページの上部に表示されているページ番号検索窓に以下のページ番号を入力するか、右の二次元コードを読み込んでいただくと該当ページへ移行します。

ページ番号 **287381** 検索



1 広島型地域運営組織「ひろしまLMO(エルモ)」

① 「広島市地域コミュニティ活性化ビジョン」の策定

近年、少子高齢化や単身世帯の増加などの家族単位の縮小、労働環境や生活環境の変化といった様々な社会的要因の変化によって、これまで地域が有していた相互扶助や福祉、防犯、防災、環境美化、伝統文化の維持、まちのにぎわいづくりなど、様々な機能が低下するおそれがあります。

そのため、本市では、住民同士が支えあい、安全・安心に暮らすことができる地域を創り、持続可能な地域社会の実現を図ることを目的として、令和4年2月に「広島市地域コミュニティ活性化ビジョン」(以下「ビジョン」といいます。)を策定し、地域コミュニティを持続可能なものにしていくため、「自分たちのまちは、自分たちで創り、守る」という基本的な考え方の下、市民主体のまちづくりを進めています。



「ビジョン」は、市ホームページに掲載しています。
ページ番号 **264064** 検索



② ビジョンに基づく広島型地域運営組織「ひろしまLMO(エルモ)」の認定

ビジョンでは、地域の関係者が、楽しさややりがいを感じながら、市民主体のまちづくりを進めることができるよう、地区社会福祉協議会や連合町内会・自治会等が中心となり、地域の実情に応じて、地域団体やNPO、協同労働団体、企業、商工会、住民有志など、多様な主体と連携しながら、概ね小学校区を活動範囲とし、小学校区内のすべての住民を対象に活動する、地域を代表する組織として、地域の情報・将来像の共有や、地域課題の解決に向けた様々な活動の企画・検討、広報等に取り組む組織づくりを提案しています。

本市では、地域が主体となって設立したこうした組織を広島型地域運営組織「ひろしまLMO(エルモ)」(以下「ひろしまLMO」といいます。)として認定し、地域の実情に応じた様々な取組を継続的に支援しています。

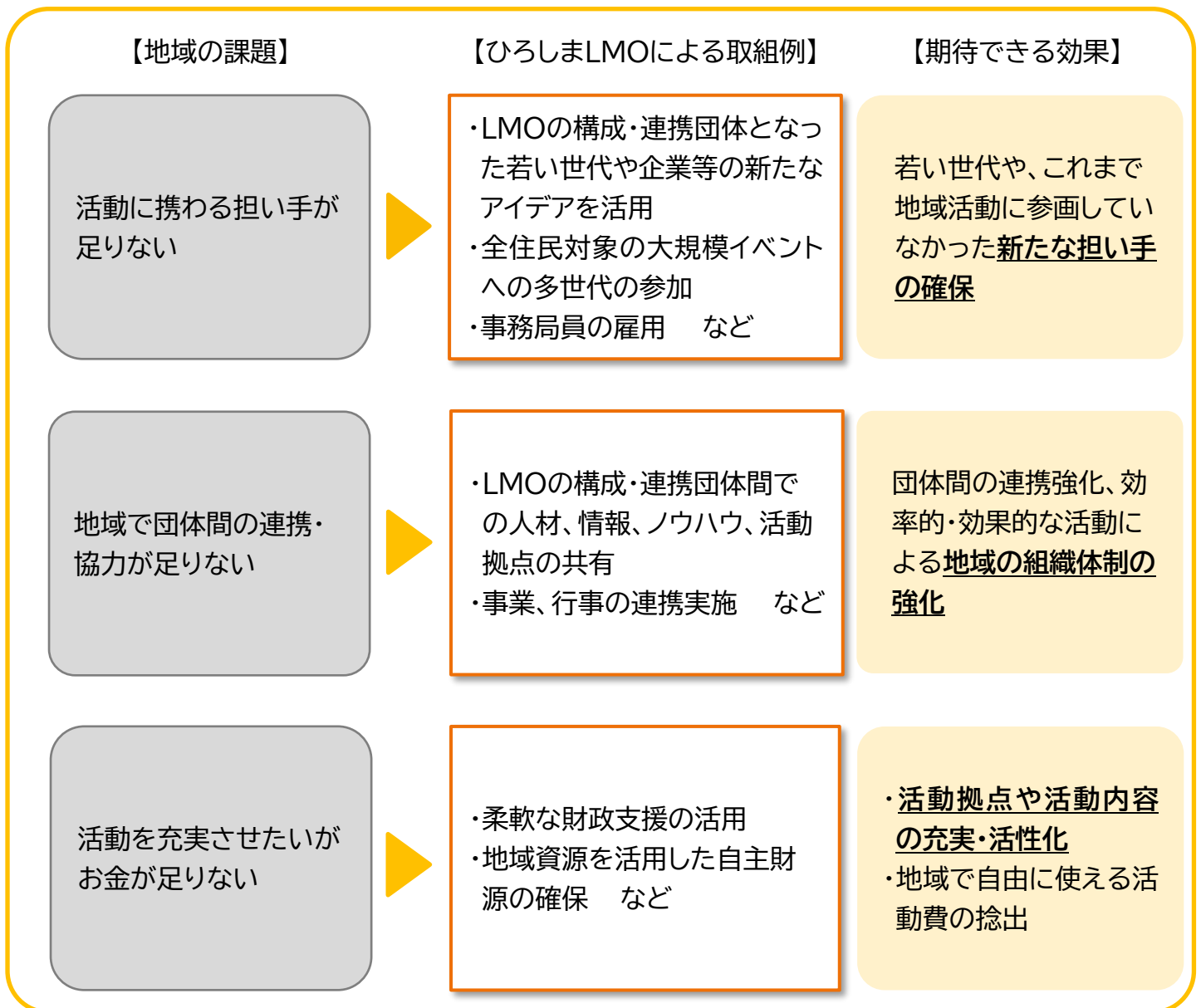
<「ひろしまLMO」のイメージ図>



※ 構成メンバーは地域の実情に応じて決定

2 「ひろしまLMO」の設立により期待できる効果

地域活動に取り組む上で課題となっている担い手不足などが、「ひろしまLMO」で連携してまちづくりを進めることで次のような効果が期待できます。

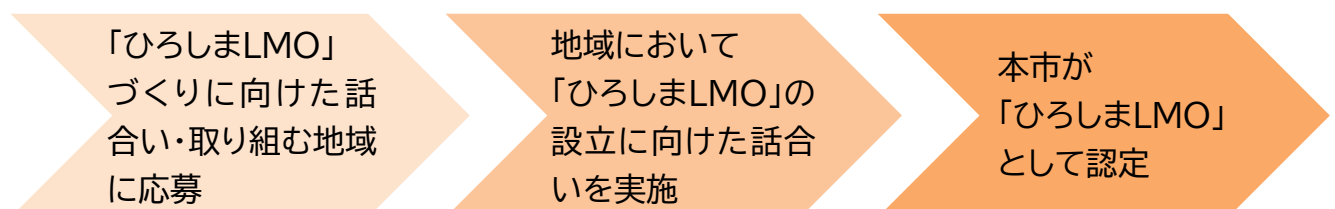


3 「ひろしまLMO」として認定されるまでの流れ

地域内での話合いの結果、「ひろしまLMO」づくりに取り組むことが決まったら、「ひろしまLMO」づくりに取り組む地域として応募をしていただきます。

次に、「ひろしまLMO」の設立に向けて、地域の課題や将来像について話し合い、組織体制や活動拠点の検討、まちづくりに関する事業計画などの作成に取り組み、設立総会を開いて地域の承認を受けます。

そして、総会で承認された認定申請書類の内容を本市が確認後、「ひろしまLMO」として認定します。この認定を受けることで、伴走支援に加えて助成金をはじめとする様々な支援(8ページから10ページ)を受けることができます。



下記のステップに沿って「ひろしまLMO」づくりに取り組みましょう。なお、記載している流れはあくまでも一例のため、「ひろしまLMO」づくりの進め方については、皆さんで話し合いの上、地域の実情にあった進め方で取り組んでください。

ステップ 1 話し合いの場の設置

【はじめに】

地区社会福祉協議会と連合町内会・自治会が中心となって、役員会などの小規模な集まりで「ひろしまLMO」づくりについて考えてみましょう。

【各地域団体との共有】

話し合いの場の構成メンバーを考え、構成メンバー間で「ひろしまLMO」づくりやその必要性について共有する場を設けましょう。

他地区の事例等を踏まえながら、構成メンバーを検討します。現役世代や子育て世代、地域で活動する団体や協同労働団体、企業など、多様な世代や主体に声をかけましょう。

【ひろしまLMOづくりの応募】

「ひろしまLMO」づくりに取り組むことが決まったら、コミュニティ再生課又は区の地域起こし推進課へ「ひろしまLMO」づくりに取り組む地域として応募をしましょう。

(応募方法については 1 ページ、申請書の記載については 5 ページ参照)

【現状や課題の把握】

地域の課題や将来像などをテーマとしたアンケートやワークショップなどを実施し、住民の声を聞いてみましょう。また、各地域団体の事業計画等を持ち寄り、実施事業を見える化し、共有することも大切です。



<ワークショップの様子>

【準備委員会の設置検討】

話し合いの場の構成メンバーを中心に、「ひろしまLMO」づくり準備委員会の立ち上げについて検討し、準備委員会の構成メンバーを選考しましょう。

行政等の伴走支援

- ・「ひろしまLMO」づくりを考える際、コミュニティ再生課及び区役所、市・区社会福祉協議会の職員が地域に出向き、「ひろしまLMO」づくりの説明や皆様からのご質問にお答えします。また、話し合いの場の結果を踏まえて、その地域にあった「ひろしまLMO」づくりの進め方を提案します。
- ・「ひろしまLMO」認定地区や「ひろしまLMO」づくりに取り組んでいる地区の事例を紹介します。
- ・アンケートを実施する際の項目等について、職員も一緒に考えます。また、ワークショップを実施する際にまちづくりコーディネーターの専門的な知識が必要な場合は、無料で派遣することも可能です。



《「ひろしまLMO」づくりの申請書(記載例)》

地域内での話合いの結果、「ひろしまLMO」づくりに取り組むことが決まったら、申請書を以下のとおり記載し、コミュニティ再生課又は区の地域起こし推進課へ提出してください。

申請書の様式は、1ページに記載している市ホームページ(ページ番号 287381)からダウンロードできます。

以下の団体の連名で申請してください。
 ①地区社会福祉協議会
 ②連合町内会・自治会(団体が組織されている地域のみ)
 ③概ね小学校区を活動範囲としている地域団体(1団体でも可)

令和●●年●●月●●日

広島市長 様

(申請団体名) ○ ●●地区(学区)社会福祉協議会
 ○ ●●地区(学区)連合町内会・自治会
 ○ ●●地区青少年健全育成連絡協議会

※ 連名の数に応じて上の記載欄は追加してください。

【上記連名の団体のうち、連絡先となる団体の情報】

(団体の所在地) 〒730-8586 広島市中区国泰寺町1丁目6番34号

(代表者 [役職、氏名]) 会長 ●● ●●

(連絡先担当者 [役職、氏名]) 事務局長 ●● ●●

(連絡先電話番号) _____ (日中連絡が取りやすい番号を記入してください。)

申請書

広島型地域運営組織「ひろしまLMO」づくりに取り組む地域として選定を受けたいので、申請します。

地域の様々な生活課題に対応することができるよう、地区社会福祉協議会や連合町内会・自治会をはじめ多くの地域団体へ「ひろしまLMO」づくりに参画してもらうことが重要です。

確認項目

<input checked="" type="checkbox"/>	行政と協働して広島型地域運営組織「ひろしまLMO」づくりに取り組む意欲があります。
<input checked="" type="checkbox"/>	広島型地域運営組織「ひろしまLMO」づくりに向けた話合いの場に参加する団体について、次のとおり具体的に想定しています。
	(想定している団体等) <input checked="" type="checkbox"/> 地区社会福祉協議会 <input checked="" type="checkbox"/> 連合町内会・自治会 <input checked="" type="checkbox"/> 単位町内会・自治会 <input checked="" type="checkbox"/> 老人クラブ <input checked="" type="checkbox"/> 自主防災会 <input checked="" type="checkbox"/> 民生委員児童委員協議会 <input checked="" type="checkbox"/> 女性会 <input checked="" type="checkbox"/> 体育協会 <input checked="" type="checkbox"/> 公衆衛生推進協議会 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども会育成協議会 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年健全育成連絡協議会 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校PTA <input checked="" type="checkbox"/> 防犯連絡協議会 <input checked="" type="checkbox"/> 献血推進協力会 <input checked="" type="checkbox"/> 母子寡婦福祉会 <input checked="" type="checkbox"/> 母親クラブ <input checked="" type="checkbox"/> NPO (団体名 NPO法人●●●●) <input checked="" type="checkbox"/> 協同労働団体 (団体名 ●●サポート隊) <input checked="" type="checkbox"/> 企業 (企業名 ●●株式会社) <input checked="" type="checkbox"/> 商工会 <input checked="" type="checkbox"/> 公民館 <input checked="" type="checkbox"/> 学校 (学校名 ●●小学校、●●中学校、●●大学) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (●●商店会、●●サークル、社会福祉法人●●)

※ 該当する項目にしてください。

ステップ 2 準備委員会での検討

【中長期計画及び単年度の事業計画・収支予算の作成】

- ・アンケートやワークショップの結果を参考に、地域の現状や課題を踏まえながら、地域の将来像を含むまちづくりに関する中長期計画の作成に取り組みましょう。福祉のまちづくりプランなど既存の計画を活かして計画の作成に取り組むことも可能です。
- ・中長期計画を基に単年度の事業計画・収支予算を作成しましょう。

<検討事項>

- ✓中長期計画
- ✓事業計画
- ✓収支予算
- ✓団体規約
- ✓協定書
- ✓組織体制、組織名称、役員
- ✓活動拠点、事務局員

【団体規約及び協定書の作成】

「ひろしまLMO」は民主的な組織運営と会計の透明性が確保された団体である必要があります。市が示すひな形を参考に団体規約案(役員の民主的な選出方法、民主的な意思決定方法、事業の計画及び執行に係る透明性の確保策、会計処理の透明性の確保策を規定)及び団体間の協定書案を作成していきましょう。構成メンバー間でこれらを共有し、話し合いを重ねて作成していきましょう。

【組織体制等の検討】

「ひろしまLMO」設立に向け、組織体制及び組織の名称、役員を考えます。組織名は地区名(小学校区名)を入れて、住民になじみやすくなりやすいものにしましょう。

(組織名の例:〇〇地区地域運営委員会、〇〇地区自治協議会、〇〇地区まちづくり協議会)

- 組織体制づくりは、新たな組織を作る、従来の組織をそのまま活かすなど様々です。中長期計画に基づき、活動しやすい組織体制を検討しましょう。また、持続可能な組織体制づくりに向けて、事務局員の雇用についても検討しましょう。

〈びしゃえもんTシャツ作成〉



組織のロゴマークやマスコットなどを製作すると「ひろしまLMO」の親しみやすさがアップします！

【活動拠点設置の検討】

活動拠点は市有施設(学区集会所など)や民間施設の借上げも選択肢に入れ、皆が使いやすい活動拠点を目指しましょう。なお、活動拠点に事務局員を配置することで、住民の皆さんが集まりやすい活動拠点となります。

行政等の伴走支援

- ・まちづくりに関する中長期計画や単年度の事業計画・収支予算、規約、協定書について、様式のひな形を提供し、スムーズに資料が作成できるよう助言などを行います。
- ・会計処理等に関する困りごとは税理士、事務局員を雇用する際の困りごとや諸手続きなどの相談は社会保険労務士を派遣します。
- ・活動拠点として市有施設の使用を希望される場合は、施設所管課と調整を行います。

ステップ 3 「ひろしまLMO」の設立・運営開始

【ひろしまLMO設立総会】

・設立総会を開いて役員を選出し、協定書案、規約案、事業計画案、収支予算案、中長期計画案の承認を受けましょう。

【ひろしまLMO認定】

・総会で承認された協定書、規約、事業計画書、収支予算書、中長期計画及び広島型地域運営組織「ひろしまLMO」認定申請書(様式あり)をコミュニティ再生課へ提出し、認定を受けましょう。認定後、認定通知書と認定証をお渡しします。



【ひろしま LMO の運営】

- ・認定を受けた事業計画を基に、地域課題の解決に向けた事業に取り組みましょう。
- ・「ひろしまLMO」への助成金等の申請・報告事務及び助成金等の会計処理を行いましょ。
- ・「ひろしまLMO」での活動を円滑に進め、地域課題を積極的に把握するには、「ひろしまLMO」の地域での認知度を高めることが大切です。SNS による情報発信や「こむねっとひろしま」を活用してホームページを作成するなど、ICTを活用して活動内容を広報しましょう。

行政等の伴走支援

- ・「ひろしまLMO」を運営する上での困りごとについて、コミュニティ再生課及び区役所、市・区社会福祉協議会の職員が連携・協力し、解決に向けた支援を行います。
- ・助成金等の申請・報告書類について、様式やその記入例を提供し、スムーズに資料が作成できるよう助言などを行います。
- ・「ひろしまLMO」のホームページを作成する場合は、本市が運用している地域のホームページを簡単に作成できるシステム「こむねっとひろしま」が無料で利用できます。

「こむねっとひろしま」に関する詳細は、市ホームページに掲載しています。
 ページ番号 **15577** 検索



5 「ひろしまLMO」へのヒト・モノ・カネの支援

① ヒトの支援

ア 職員の派遣

広島市及び市社会福祉協議会の職員が、「ひろしまLMO」の設立に向けた会議等への出席や「ひろしまLMO」づくりに必要となる資料がスムーズに作成できるよう助言などを行います。

また、「ひろしまLMO」の運営開始後も、会議等への出席や資料作成の助言など継続的な支援を行います。

イ 専門家の派遣

- ・「ひろしまLMO」の設立に向けた地域団体間の話合いの場において、地域の課題・将来像が団体間でしっかりと共有できるよう、話合いの円滑な進行や話合いで出た意見の集約など、「ひろしまLMO」の設立を支援するコーディネーターを派遣します。

- ・「ひろしまLMO」を運営する上で必要となる会計処理等に関する困りごとは税理士、事務局員を雇用する際の困りごとや諸手続きなどの相談は社会保険労務士を派遣します。

ウ 「ひろしまLMO」会長等の派遣・見学ツアーの実施

「ひろしまLMO」の設立を検討する地域を対象として、「ひろしまLMO」の会長等を派遣するほか、「ひろしまLMO」の拠点等を見学するツアーを実施することにより、「ひろしまLMO」認定までの事務作業やノウハウ等を紹介します。

② モノの支援

【活動拠点の提供】

「ひろしまLMO」の活動に必要な拠点として市有施設の使用を希望される場合は、施設所管課との調整を行います。

<市有施設の例>

・学区集会所 ・福祉センター ・その他の市の遊休施設

③ カネの支援:「ひろしまLMO」の設立・運営に対する財政支援

ア ひろしま LMO 設立時助成金 <広島市社会福祉協議会からの助成> ※申請は1回限り

備品整備費や拠点改修費、事務所費などの拠点整備や設立当初の運営に要する経費を助成します。(助成額:50万円(上限額) ※補助率10/10)

イ ひろしま LMO 運営助成金 <広島市社会福祉協議会からの助成> ※毎年度申請可能

種 別	助成額	内 容
人件費	300万円(年度上限額) ※補助率10/10	活動拠点に配置する事務局員の雇用などに要する経費を助成します。 【主な対象経費】 事務局員の給料、交通費など
活動拠点維持管理・運営費	300万円(年度上限額) ※補助率10/10	活動拠点を継続的に運営するために必要となる施設の借上げなどに要する経費を助成します。 【主な対象経費】 活動拠点の借上料、光熱水費、電話料金など
地域課題を解決するための事業への支援		「ひろしま LMO」が作成する事業計画に基づく地域の実情に応じた課題解決のための事業に要する経費を助成します。

※ 「ひろしまLMO」を設立した年度から対象となります。(LMO認定日以降の経費が対象経費)

「ひろしまLMO」へのヒト・モノ・カネの支援

③ カネの支援:「ひろしまLMO」の設立・運営に対する財政支援(続き)

ウ ひろしまLMO一括交付金 <広島市社会福祉協議会からの助成> ※毎年度申請可能

「ひろしまLMO」を中心とした連携協定を締結している各種地域団体(以下「ひろしまLMOの連携団体」といいます。)における地域特性を生かした活動の更なる充実や事務負担の軽減につなげるため、市から各種地域団体に直接交付している補助金に代えて、従来の補助金の補助限度額や対象経費等を拡充・一本化した一括交付金を広島市社会福祉協議会から「ひろしまLMO」に交付します。なお、「ひろしまLMO」においては、この一括交付金を、一括交付金化の対象となった各種地域団体のこれまでの活動が継続できるよう留意しながら、ひろしまLMOの連携団体へ柔軟に配分していただきます。

<一括交付金の対象となる現行補助金>

	補助金名称	交付対象団体	補助率
1	学区体育団体スポーツ振興事業補助	学区体育協議会	1/2
2	広島市地域女性会事業補助	単位女性会	
3	学区子ども会育成協議会事業補助	学区子ども会育成協議会	
4	地区青少年健全育成連絡協議会事業補助	地区青少年健全育成連絡協議会	
5	地域組織活動事業補助	単位地域活動連絡協議会	
6	地区社協助成金(運営費助成)	地区社会福祉協議会	10/10

<ひろしまLMO一括交付金の概要>

区 分	内 容
対象団体	ひろしまLMOの連携団体
対象事業	<ul style="list-style-type: none"> 一括交付金の対象となる現行補助金の対象事業 地域コミュニティの活性化に資する事業 団体の組織運営事業
対象経費	一括交付金が配分されたひろしまLMOの連携団体の事業実施及び組織運営に要する経費 【主な対象経費】 事業実施に伴う施設使用料、事務用品、備品、行事保険料、弁当・お茶代など 組織運営に伴う会議等出席の際の交通費、会議に伴う茶菓代など
交付上限額	以下のアとイを合算した額(連携団体分に限りません。) ※補助率10/10 ア:上表1～5の現行補助制度の補助対象経費(補助限度額×2)に3/4を乗じた額の合計額 イ:上表6の現行補助制度の補助限度額と同額

【注意事項】

- ☑ 一括交付金は「ひろしまLMO」を設立した年度の翌年度から対象となるため、設立年度は引き続き現行補助金を活用してください。

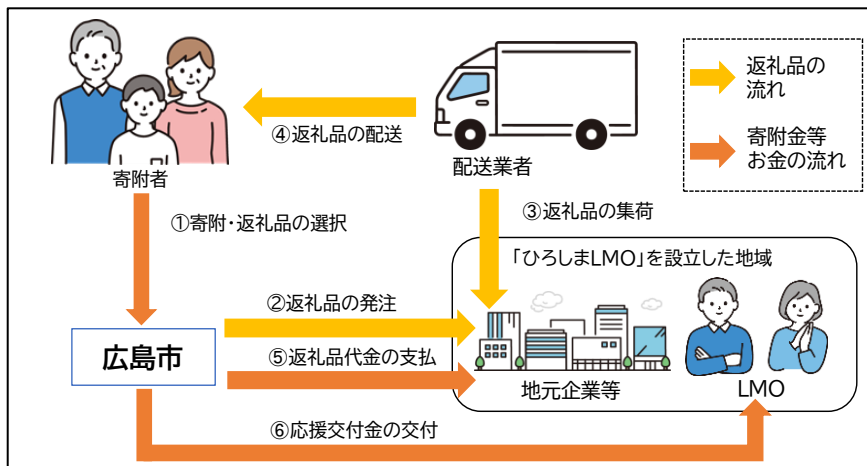
「ひろしまLMO」へのヒト・モノ・カネの支援

その他の財政支援

【広島市地域コミュニティ活性化に関するふるさと納税事業】

「ひろしまLMO」の自主財源の確保を支援するため、一定の要件を満たした地域の特産品やアクティビティ等を広島市ふるさと納税の返礼品として設定し、集まった寄附金を「ひろしまLMO」に還元する事業を実施しています。

<事業のイメージ図>



「ふるさと納税事業」に関する詳細は、市ホームページに掲載しています。

ページ番号 **339600** 検索



【参考】「ひろしまLMO」の取組事例

① ふるさと納税制度を活用した地域の活性化 (大林学区地域運営委員会)

地域の課題

- ・高齢化や近年の土砂災害の影響により休耕田が増えている。
- ・地域活動の活性化や地域の結の精神をより醸成したい。

【取組内容】

- 休耕田を地域資源として捉え、被災地復興を目指して活動する若者グループと連携し、休耕田で再び米を育て、地元企業の協力を得て地域オリジナルの酒を開発・商品化
- 地域の店舗等で販売するとともに、広島市ふるさと納税の返礼品として設定し、返礼品を希望した方からの寄附金を「ひろしまLMO」に還元する制度を活用して活動費を捻出
- 農作業に地域内外から多くの若者が継続的に参加し、また、地元住民と一緒に草刈り等の環境保全活動を行うなど、住民と若者の交流により地域活動が活性化



② 事務局員の雇用による事務負担軽減や ICT 強化

(上温品まちづくり協議会)

地域の課題

事務作業ができる人材及びホームページや SNS を活用した情報発信の取組において専門的な技能を有する人材の確保が課題となっている。

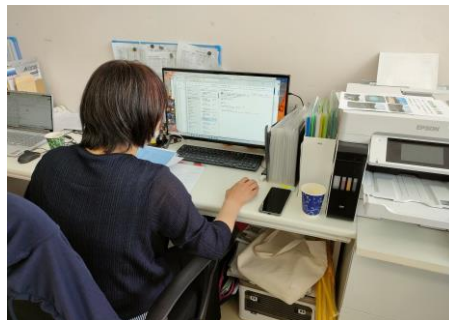
【取組内容】

- 「ひろしまLMO」が雇用主となり、子育て世代を含めた事務局員を4名雇用

〈労働条件〉

- ・時給 1,100 円、週5日、9時～17時の間のシフト制

- 事務局員が常駐し、事業の進行管理や会議資料の作成、各助成金の申請・管理などを行うことで、「ひろしまLMO」の役員に過度な負担がかかることなく運営可能
- これまで各団体が実施していた事業を「ひろしまLMO」主催で実施することにより、各団体の事業運営や経費負担が軽減
- 広報誌やホームページ、インスタグラムの開設による情報発信の強化及び継続的な運用により、地域活動への参加者の増加に期待



③ 誰でも気軽に立ち寄れる活動拠点づくり (大芝地区社会福祉協議会)

地域の課題

- ・地域の集会所や公共施設は空きがない上にスペースが狭く使いにくい。
- ・住民が気軽に集まれる場所が欲しい。

【取組内容】

- 「ひろしまLMO運営助成金」を活用して、民間のテナントを借上げ、事務所と交流スペースを併設した活動拠点を新設
- 会議や行事を行えるスペースやパソコンなどを貸し出せるようにすることで、地域住民や地域団体が気軽に集まれる場としても活用
- 地域の親子が気軽に集え、子育て世代の交流ができる居場所として、0歳から未就学児とその保護者を対象に週2回子育てオープンスペースとして開放



④ 地域団体の連携・地域力強化のための活動拠点整備

(神崎学区地域運営委員会)

地域の課題

- ・各種団体同士の交流や情報交換の場として、拠点機能の充実が課題となっている。
- ・身近な地域活動の場である集会所の利用料が負担になっている。

【取組内容】

- 集会所の一室を「ひろしまLMO」の活動拠点として整備し、新たにコピー機を設置
- 「ひろしまLMO」に連携している地域団体が地域活動のために利用するのであれば、集会所使用料及びコピー代は「ひろしまLMO」が負担
- 地域団体が集会所を利用しやすくなることで、「ひろしまLMO」の活動拠点に立ち寄りやすくなり、事務局や他の地域団体との交流及び情報交換の機会が増加し、地域力の強化に期待



⑤ 地域内連携 認知症カフェ×多世代交流

(矢賀学区まちづくり委員会)

地域の課題

- ・新しい事業に取り組みたいが、単一団体では難しい。
- ・幅広い世代が継続的に交流できる場をつくりたい。

【取組内容】

- 「ひろしまLMO」の設立をきっかけに、構成団体や地域の有志が連携し、認知症カフェに幅広い世代の住民に参加してもらう「多世代カフェ」を開設
- 月1回開催し、大人と子どもと一緒に遊べるゲームコーナーや昔遊び、健康相談、地産野菜や障害者就労支援事業所のパン販売など地元農家や事業所とも交流できる場となり、毎回約80人以上が参加する人気のカフェに
- 主催団体がやりがいを感じ、楽しみながら企画・運営しているので、新たなアイデアの創出や組織力の向上に期待



<多世代カフェやが「ぼかぼか」>



⑥ ICTを活用した健康体操の実施 (比治山学区社会福祉協議会)

地域の課題

- ・ICTを活用してより多くの高齢者が交流や健康づくりをできるような仕組みを作りたい。
- ・スマートフォンやタブレット端末を活用できる高齢者を増やしたい。

【取組内容】

- 市内の大学や地域関係者と連携し、地域内7つの集会所にネットワーク環境を整備してスマートフォンやタブレット端末への配信によるオンラインでの健康体操を実施
- 離れた場所でも住民同士の交流が可能になるとともに、スマートフォンなどに対する苦手意識も軽減
- 地域活動の幅が広がるとともに、高齢者だけでなく、地域全体でICTを活用できるようになることで、地域活動の活性化につながることを期待



⑦ 周辺大学の留学生と小・中学生の国際交流

(大塚・伴南学区社会福祉協議会)

地域の課題

- ・小中学校で英語教育強化が進む中、小中学生には国際交流の機会がほぼない。
- ・災害発生時、留学生に対して適切な呼びかけや円滑なコミュニケーションがとれるか不安

【取組内容】

- 留学生が在籍する近隣大学の協力を得て、留学生と地元の小・中学生が参加するイベントを企画し、小・中学生の英語教育推進を目的とした国際交流の場を提供
- イベントは2つの小学校と1つの中学校で実施。折り鶴や餅つき、中学生による和太鼓の演奏により留学生をもてなし、参加者は英語を交えてコミュニケーションをとった。
- 主催である「ひろしまLMO」と留学生の間にもつながりができ、顔なじみになることで、災害時の円滑な対応も期待



⑧ 若い世代が企画した地域行事の開催 (毘沙門台学区社会福祉協議会)

地域の課題

- ・高齢化及び地域行事のマンネリ化により従事者や参加者が減っている。
- ・コロナ禍がきっかけで、地域の人間関係の希薄化が進んでいる。

【取組内容】

- 伝統文化である「とんど祭り」と子どもたちを対象にしたイベントの企画・運営を地域の若い世代に依頼
- 新しいアイデアによる出店マルシェや交流イベントにより、例年よりも親子連れの参加者が多くなり、コロナ禍がきっかけで停滞していた地域のにぎわいが復活
- 若い世代にも「LMO毘沙門台」の取組を知ってもらうきっかけとなり、今後の地域活動への参画に期待



⑨ 地元企業及び大学等と連携した地域活動 (大林学区地域運営委員会)

地域の課題

- ・地域内で孤立しがちな子育て世代等が交流できる居場所を作りたい。
- ・地域活動に参加する人が減っており、次世代の担い手が見つからない。

【取組内容】

- 大林学区地域運営委員会の構成団体である地元企業が、イベント会場や地域交流活動の場として敷地や施設を無償で開放
- 子ども会や子育て支援団体、大学など地域内外の団体と協力し、子育て世代のコミュニティスペースとして活用を目指す。
- 保健師相談会やイベントの開催、利用者が思い思いに過ごす場の提供などを通じて、居場所をつくる。
- 若い世代の孤立を防ぐとともに、地域活動への参画やこの地域に住んで良かったと思える関係づくり、結の精神と郷土愛の醸成につながることを期待



<大林 木と食の里まつり>

⑩ 近隣市町の地域団体と連携した交流活動（ほことり総合企画LMO広島）

地域の課題

- ・近隣市町の地域団体や他地区の「ひろしまLMO」と気軽に交流したい。
- ・地域コミュニティの活性化に向けた新たな取組のヒントがほしい。

【取組内容】

- 広島広域都市圏交流活動促進事業の補助金を活用してバスを貸し切り、近隣市町でバンド演奏により地域のにぎわいを生んでいる団体の活動拠点を視察し意見交換
- 他地域の団体との交流により、自分たちだけでは思いつかなかった新たなアイデアが生まれ、例年とは一味違うイベントに進化
- この視察をきっかけに、「ほことり総合企画LMO広島」のイベントへの出演や会場設営にも協力してもらうなど、更なる交流が実現



【広島広域都市圏交流活動促進事業に関すること】
広島市 HP ページ番号 **370765** 検索



⑪ 既存事業の集約・拡充による賑わい創出（河内地区活性化運営委員会）

地域の課題

- ・地域行事を効率化し、幅広い世代が参加してもらえるイベントにしたい。
- ・高齢化や担い手不足により会場設営等が負担になっている。

【取組内容】

- 従前から開催していた地域の2つの祭りを集約し、地域内外の幅広い世代に参加してもらえるイベントにするため、開催場所を公民館から小学校に変更
- 助成金を活用し、テントや椅子の設営など会場設営を業者に委託することで地域団体の準備の負担が大幅に軽減
- 保育園の保護者会に出店をお願いするなど若い世代の参画もあり、地域のにぎわいのみならず新たな協力者も獲得



◆ 申請・問合せ先

※ 「ひろしまLMO」づくりに関する内容及び申請書の提出については、コミュニティ再生課又は区の地域起こし推進課へお問い合わせください。なお、1ページに記載している市ホームページ(ページ番号287381)には、「ひろしまLMOづくりに関するQ&A」も掲載していますので御確認ください。

課名	電話番号(FAX)	住所	E-mail
企画総務局地域活性化調整部 コミュニティ再生課	082-504-2867 (FAX:082-504-2029)	中区国泰寺町一丁目6番34号	community@city.hiroshima.lg.jp
中区市民部地域起こし推進課	082-504-2546 (FAX:082-541-3835)	中区国泰寺町一丁目4番21号	na-chiiki@city.hiroshima.lg.jp
東区市民部地域起こし推進課	082-568-7704 (FAX:082-262-6986)	東区東蟹屋町9番38号	hi-chiiki@city.hiroshima.lg.jp
南区市民部地域起こし推進課	082-250-8935 (FAX:082-252-7179)	南区皆実町一丁目5番44号	mi-chiiki@city.hiroshima.lg.jp
西区市民部地域起こし推進課	082-532-0927 (FAX:082-232-9783)	西区福島町二丁目2番1号	ni-chiiki@city.hiroshima.lg.jp
安佐南区市民部地域起こし推進課	082-831-4926 (FAX:082-877-2299)	安佐南区古市一丁目33番14号	am-chiiki@city.hiroshima.lg.jp
安佐北区市民部地域起こし推進課	082-819-3904 (FAX:082-815-3906)	安佐北区可部四丁目13番13号	as-chiiki@city.hiroshima.lg.jp
安芸区市民部地域起こし推進課	082-821-4905 (FAX:082-822-8069)	安芸区船越南三丁目4番36号	ak-chiiki@city.hiroshima.lg.jp
佐伯区市民部地域起こし推進課	082-943-9705 (FAX:082-943-9718)	佐伯区海老園二丁目5番28号	sa-chiiki@city.hiroshima.lg.jp

※ 設立時助成金や運営助成金、一括交付金の詳細については、広島市社会福祉協議会にお問い合わせください。

課名	電話番号(FAX)	住所	E-mail
広島市社会福祉協議会 地域福祉推進課 地域連携支援担当	082-236-6175 (FAX:082-264-6413)	南区松原町5番1号 BIG FRONT ひろしま6階	renkei@shakyohiroshima-city.or.jp